

2009/11/10  
航空安全フォーラム

# 安全文化について



慶應義塾大学 大学院  
システムデザイン・マネジメント研究科  
高野 研一

# 取り組むべき課題の優先順位は？



生産設備

・老朽化、海外移転



技術

・技術伝承、ブラックボックス化



管理

・成果主義、アウトソーシング、  
業務過多

実効性向上



組織風土・文化

・モラル、人間関係、  
利益優先、モチベーション

社会(規制含む)



# 安全文化の4要素 (James Reason)

- 報告する文化
- 学習する文化
- 柔軟な文化
- 正義の文化



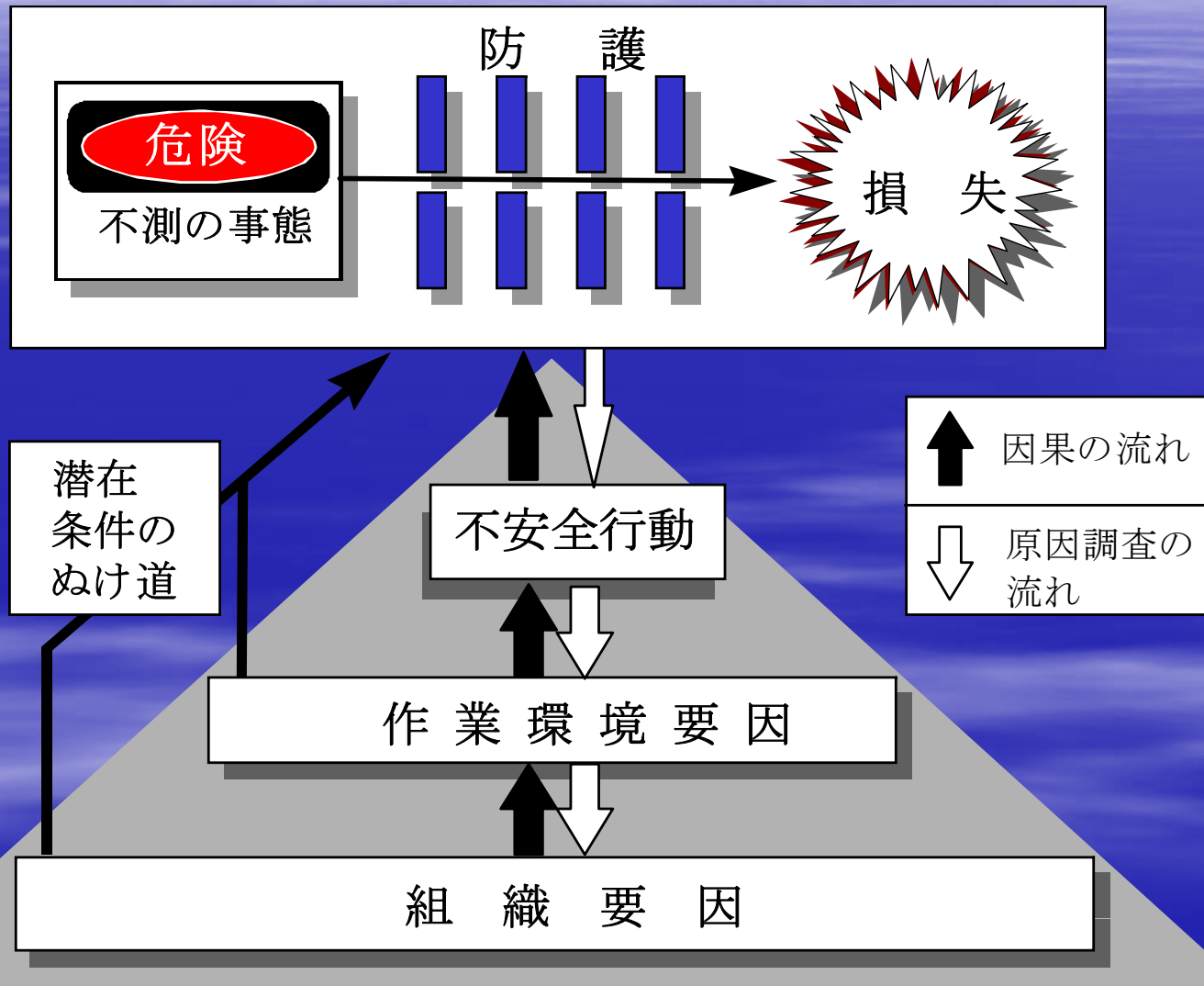
# 組織事故・トラブルの共通要因

- ・スケジュール(工程)優先
- ・会社には損害を与えたくないという使命感
- ・疑問を感じつつも(楽観し)、確認・再考しない
- ・手順・標準通りしないことが日常的になっている
- ・最大の潜在リスクに対する意識低下
- ・個人・階層間・組織間のコミュニケーションが疎
- ・チェックする立場の管理者の独断・多忙
- ・安全バリアの緩慢な後退・無力化
- ・通常とは違う状況(切迫感を与える状況)
- ・過去のニアミスの教訓を学んでいない  
(間違った成功体験)

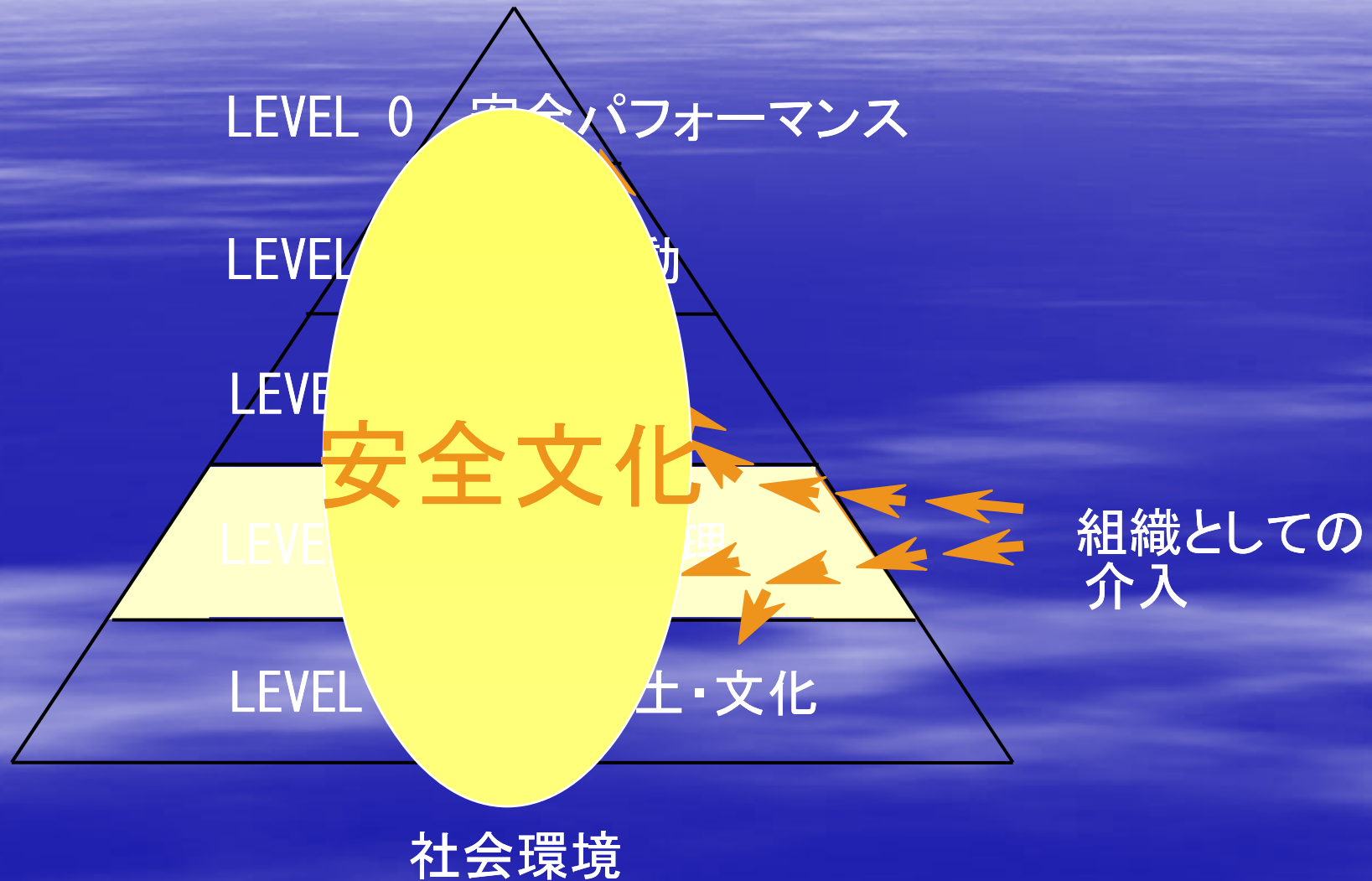


# 組織(大規模)事故発生モデル

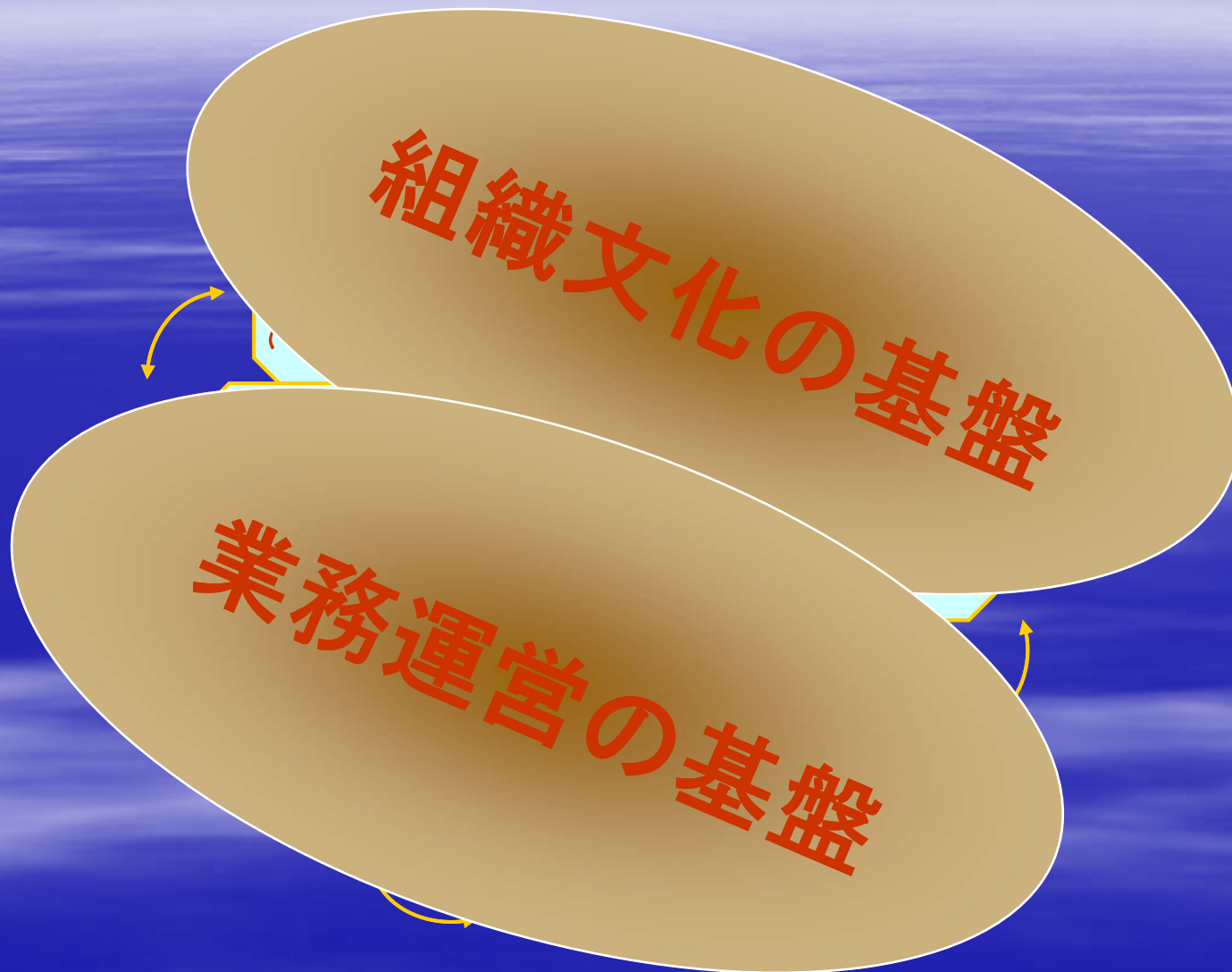
—組織事故の発生モデルから—



# 防護層の健全化に向けた組織の取組み



# 組織の文化・風土から考える



※8軸は隣接する軸同士の関連が深い、他の軸とも密接に係わっている。

